会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2014年7月





千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2014年7月1日発行 通巻255(毎月1回発行)

無理な山行計画は

重大事故のもと

7月号 目次

•	Ħ	次	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
•	第4	回り	具連	理	事:	会幸	R 본	<u>=</u>	•	•	•	•	•	•	•	•	•	吉	田	;	理	拝	₹ •	•	•	•	•	•	•	•	•	3
•	千葉	果	車盟	5	0)	割年	F 事	業	ŧσ,	案	内		•	•	•	•	•	広	木	[国肝	召•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
•	花博	士	の花	便	り	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	中	原	Ŕ	记作	计	<u>.</u>	•	•	•	•	•	•	•	•	5
•	平日	山彳	亍報	告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	八,	イギ	キン	ノウ	す	員	会	•	•	•	•	•	•	•	6
•	初級	登	山教	室	報台	告	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	教	育	曹ź	付多	ŧ,	会	•	•	•	•	•	•	•	•	7
•	第1	5 🕏	ふ会	れ	あし	<i>(</i>)/	1	ノク	案	内		•	•	•	•	•	J	ふね	しま	bV	ソノ	イ	ク	実	行	委	員:	슺		•	•	9
•	Гф	う」	た。	t y) N	О	4	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• -	長》	也	康	醚	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	0
•	会山	行韓	報告	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	松月	≓Ц	10)会	•	藤	さ	ん	•	•	•	•	•	1	2
•	会山	行韓	设告	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	ち	ば	Щ۵	の会	会 •	寺	崎	i さ	ん	•	•	•	•	•	1	4
•	リレ	/—:	エッ	セ	1	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	j	_ ;	まく	< 2	۲.	ΙC	•	小	Щ	さ	ん	•	•	•	•	1	6
•	県連	iた。	より		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	7
•	7月	8	8月	予	定	表		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	8

表紙説明

教育遭難対策委員会主催の「初級登山教室」が行われた。初日は、三つ峠の登山道で事故を想定した訓練を実施した。

2日目は、本栖湖の大型バンガローで、女性委員会の「ワンコイン講習会」でおなじみの「荒井先生」の指導で「いつまでも登山の出来る身体」の講習会を行った。新しい会員の参加が多く、千葉県連の今後が楽しみになった。同時に、古参会員の身体のお手入れ不足も目立ちました。

--- 編集者---

2014年度第4回理事会報告

- ■開催日時:6月19日(木)19:00~
- ■開催場所:船橋市西部公民館
- ■出席:ちば山、茂原、船山、松戸、東 葛、こまくさ、かがりび、ふわく、市川、 シリウス、らんたん、民医連、自然保 護、教遭、ハイキング、救助隊、会長、 理事長、副理事長、会計(山翆会理事 兼任)、ふれあい担当 以上21名

■配布資料

- •14年度事故報告
- •「ハイキングのスタンダード作成委員会(仮称)」委員派遣の呼びかけ
- ・第15回ふれあいハイク参加者募集チラシ
- ・千葉県連 加盟会・クラブの現状に関 するアンケート
- •50周年記念事業報告
- •全国連盟14年重大事故報告

■議題

- 1. 委員会·救助隊報告
- *教育遭難対策委員会(岡田)
- ・初級登山講習 8会42名参加 参加者の意見を集約中。6/23 の委 員会にてまとめ、ちばニュースに掲 載予定
- ・こまくさの事故報告 当該会員はこの 事故後退会→新特別基金が適用に なるか確認要(鶴田基金担当)
- ・全国のハイキング、スタンダート、作成委員会 への委員派遣要請あり、対応を協議 する
- *ハイキング委員会(桑原)
- ・ウィクデー山行 バス2台43名参加
- ・残念ながら期待する花は咲いてなかった
- ・関越道のバス事故以来、バスの規

が厳しくなっているので、ゆとりを持った計画が必要

- *自然保護委員会(菅井)
- ・クリーンハイク、各会の取組みを報告して欲しい。現在は4会のみ
- *組織委員会(広木)
- ・各会の現状を把握したいので、アンケートを実施予定
- *救助隊(関口副隊長)
- ・6月訓練 さざんかの家にてファーストエイドとロープワーク講習 2 4名参加予定
- 2. ふれあいハイク (岡田実行委員)
- ・県連より100名以上の協力をお願いしたい
- ・9月の理事会にて参加締め切り
- バスの乗員を確保するため、できる だけ現地集合はやめてバスへの乗車 をお願いする
- 3. 災害支援報告(吉田)
- ・6/14~15 17名の参加
- ・房総の花いっぱい運動を牡鹿半島で 行う
- 4. 50 周年事業報告(広木)
- ・6/12 第1回目の実行委員会を開催
- 5. 全国 14 年重大事故報告(吉田)
- ・すでに7名の死亡事故有り、これは 19 名が亡くなった年に匹敵する異 常事態
- ・懸垂下降中のすっぽ抜けにより事故 や、新特別基金未加入の事故など、 基本を疎かにしている事例があり、 注意を喚起したい
- ■今後の理事会日程について 7月17日(木)場所:西部公民館 時間:19時より

千葉県連盟50周年記念事業報告(NO-1)

2014 . 6 . 18

第1回実行委員会が開催されました。以下の通り報告します。 千葉県連盟の総力を結集して、50周年を、共に祝い、喜べる事業にしたいと思います。 全会・クラブ・全会員の参加・協力をお願いします。

- 1、実施日 2014年6月12日(木)19時より
- 2、実施場所 船橋市西部公民館
- 3、参加者 ・参加会

船橋勤労者山の会、松戸山の会、東葛山の会、かがりび山の会、 民医連山を歩こう会、松戸山翆会、ふわくハイキングサークル 茂原道標山の会、シリウス山の会、こまくさハイキングクラブ、 ちば山の会 (11会)

- ・参加者内訳 会代表者(8会)・県連理事参加数(7名)・役員参加数(8名)
- 4、議題 ① 50周年記念事業に概要について説明。
 - ② 具体的な事業内容について意見交換。
 - ・各会、会員が参加出来る事を優先した行事。
 - ・テーマを決めた山行(リレー山行・房総の山50選登山など)
 - ・ハイキング層向けに、平地散策なども視野に入れる。
 - ③ 50年のあゆみ(仮題)については、発行する事を確認した。
 - ・各年代の加盟会、会員数など。
 - ・特徴的な行事、取り組み等。ロングハイク・ウイークデイ山行・ ふれあいハイク・郡界尾根縦走など。
 - ④ 千葉県連盟の自然保護の取り組みのまとめ。
 - ・房総有料道路建設反対運動。 ・追原ダム建設阻止運動。
 - ・鬼泪山を守る運動。・産廃処理施設建設の現調。
 - ・房総の水を守る運動団体などと協力し現地調査の実施。
 - ⑥ 房総の山・沢についての紹介。
 - ・各会で取り組んでいる、房総の山・沢の資料提供などの協力をお願いして、 ガイドブック的にまとめる。
 - ⑦ 実行委員会体制 (実行委員長・事務局長 のみ選出)
 - ・実行委員長 広木県連会長 ・副実行委員長 (若干名) (会代表者・県連理 事・役員会から選出)・事務局長 (戸石県連理事)・事務局 ・会計
 - 各行事のリーダーを選出し、パート別に実行委員会を進める。
 - ・各会・クラブからの、パート協力者の参加をお願いします。以 上
 - ◆ 50周年記念事業は、2016年度での実施が中心になります。しかし、行事内容等によっては、前倒しで実施する事業もあります。多彩な事業が予想されます。 パート別に実行委員会を実施して行く事になります。参加協力をお願いします。

報告者 広木 国昭

花博士の花便り

2017年6月

中原 喜代司(ふわくハイキングサークル)

ウィクディ山行の湯の丸山は、お目当てのレンゲツツジは、車中の麓で咲いていましたが、 つつじ平のツツジは蕾が固いく残念でした。登山中に、イワカガミ、ミツバオーレン、オオ カメノキ、ミネズオウ、ムラサキヤシオの花が目に付きました。その中で、ミネズオウ(峰 蘇芳)はツツジ科の樹木で葉が対生し蘇芳(イチイ)の葉に似て峰に咲くので名づけられ白 い小さな花が固まって咲いていました。

6月の里山で、緑の中で白く見えるのは、**クマノミズキ**(**熊野水木**)ミズキ科ミズキ属の花で、葉は対生です。5月に咲くミズキの葉は互生で枝を切ると水の様な樹液がでるので水木と名づけられ花の咲くのが 1 か月早いので分かります。他のミズキ科には、サンシュユ(ハルコガネバナ)、ヤマボウシ、ハナミズキ(アメリカヤマボウシ)、ハナイカダ、アオキなどがあり属や花の咲く時期が違います。

長南町の長福寿寺にベニバナを見に行きました。**ベニバナ**は山形県が有名ですが、長南町が、発生の地という事です。寺にある煙の木(スモークツリー)も変わった木の花が観られます。咲いた時は薄紫ですが夏に白い煙の様な花に変わります。

今月の巨木 長柄の権現森のタブノキ(イヌグス)クスノキ科

長柄山で三角点のある権現森自然林の武峰神社前のタブノキは、目通りが約5mあり空洞に 人が楽に入れます。他にムクノキやカゴノキ、などの巨木もあります。



ミネズオク



タブノキ



、ニバナ



メブノキ

第18回ウィークデー山行 IN 湯の丸 報告 (2014年06月06日)

山行日: 2014年06月05日(木) バス2台

参加者: 松戸山の会4: 山の会らんたん4: まつど山翠会4: かがりび山の会2:

東葛山の会 7: ふわく HC13: ちば山の会 4: こまくさ HK4: 市川山

の会1: 9会43名

天 侯: 晴れ間~霧~小雨

行 程: A 車 6:15 千葉発 20 名: B 車 6:15 鎌ヶ谷市役所 7 名=6:50 新松戸流経大前出発

16名:計43名==関越道(高坂 SA 合流:8:20 発)=信越道(湯の丸 SA9:50/10:10

発) 東部湯の丸 IC==地蔵峠駐車場 10:45 着 準備・体操

11:00 出発―キャンプ場 11:10-ツツジ平 11:40 着 (レンゲつつじ未開花)

① 下山組 10 名はイワカガミその他の花々を散策:スキー場のヨモギ・わらびをゲットしながら下山:12:30~14:20 まで湯の丸高原ホテルにて入浴・昼食・休憩

② 湯の丸山登山組 33 名は各会毎に直ちに登山開始:山頂踏破と途中で引き返す組其々 13:50 までには下山:ホテルにて入浴・休憩

14:20 乗車 14:30 バス会社の規定により帰路に着く。

今回の山行は日にち決定の時から花の開花を祈っていたが、見事にはずれてしまいました。天気はなんとか大降りにはならず、持ってくれたので登山組は事故もなく無事に下山出来たのは何よりでした。花も 60 番観音様頃まではツツジも咲いていたのと登山道でのカラ松の新緑にいやされ、せめてもの慰めでした。ただ、今回は距離的に遠いので、バス会社の規定にはまり、到着も大幅に遅れ、帰り時間も少しの余裕もなく予定していた行程(雪山賛歌の碑見学など)も行く事が出来ずに残念でした。

もっと時間の余裕を持った場所を選ぶべきだったと反省です。 桑原年一(記)



いざ出発です。

初級登山講習の纏め

教育遭対委員会 岡田

去る5/31(土)-6/1、三ツ峠山表登山道及び本栖湖キャンプ場にて教育遭対委員会主催で各会の初級者を対象とした講習会を行いました。

当日の天候は曇り一時小雨でしたが、8会より計43名の参加(1日のみ参加を含む) を得て、無事終了する事が出来ました。

内容は「登山前後のストレッチング」に始まり、「ストックの使い方」「地形図の見方とコンパス使用法」「ツェルトの張り方」「岩場の通過」「スリングとロープの結び方(シートベント・エイトノット・マスト結び・巻き結び他」「救急法(テーピング)」「搬出法」に加え、翌日は「筋力トレーニング」をもインストラクターの下に実施した。

尚、終了後 各会より下記の様な感想・要望が多数寄せられており、次年度はそれらを も念頭に更に充実した講習を行いたく考えています。

良かった点・講習内容が盛り沢山で、初級者には有意義だった。

- ・班編成が他会との混合だったので、交流が図れて良かった。
- ・ 荒井トレーナーの話と筋トレ実技が大変参考になった。
- ・ベテランにも起こり得る事故を想定した実技講習内容で、初日は時間が 足りない程充実していた。
- ・小さな会はこの様な講習会が出来ないので、中級向けも企画して欲しい。

改善すべき点・講師が一人だったので、講習毎に待たされることになり、また講師も何度も同じ説明をする事になり大変だった。 各会から講師を出すなどして講習内容・場所の分担が必要。

- ・主催者が集合時間に遅れ、開始が大幅にずれ込み、午後の講習が尻切れになった。
- ・講習内容が多岐にわたり、初心者にはカリキュラムが多く消化不良(ザイルワーク等)な面も。
- ・登山歴の浅い初級者参加が多い会と、経験者が参加の会が混在しており、 講習の趣旨を周知すべき(参加者が多過ぎるかも)。
- ・表登山道でブヨが多く大変な目にあった。事前に情報があれば、防虫ネット、服装、薬などの対策が出来たので、被害が抑えられたと思う
- ・内容が盛り沢山なので、事前にテキストが配られれば、予習出来て尚良かった。



ツェルトでのビバーク訓練



ヨーシ・はじめるぞーー



骨折の応急手当



こんな 感じかなー



あなた、固いねー、大丈夫ー



真っ直ぐ歩ける? うーん



簡単です! そうですかー



キッツーー これで終わりだね

第15回 ふれあいハイク参加者募集

第15回 ふれあいハイクを房総半島 館山野鳥の森で行います。

秋の一日障害者とともにハイキングを楽しみませんか。

日程 2014年度 10月26日 日曜日

JR千葉駅 NTT 前8:00分集合·8:30出発

費用 1人 4,500円

千葉県連として取り組んでいますので各会は多くの参加者を募ってください。

障害者は車イスは7台くらい・視覚障害者・多少歩行できる人、計30名くらい。

千葉県連としては100名以上の参加がほしいです。

15回 ふれあいハイク行動予定表

【日程】 2014年10月26日 日曜日

【場所】 房総半島 館山野鳥の森

【集合場所・時間】 千葉駅前 NTT前 8時00分

【出発】 8時30分出発

NTT前8:30発 蘇我IC 市原PA(休憩20分) 一館山自動車道 富浦IC 国道410号線 館山野鳥の森駐車場(10:20着 10:50発)…0:05…野鳥の森広場…0:30…富士見展望台…0:10…国見展望台…0:10…平砂浦展望台…0:10…ピクニック広場(昼食・レクレイション)12:00着 14:00発…0:15…西沢の池経由水辺の森…0:10…ピクニック広場・0:15…国見展望台…0:10…富士見展望台…0:20…野鳥の森広場…0:05…館山野鳥の森駐車場15:15着15:45発 富浦IC 市原SA(休憩20分) 一松ヶ丘IC NTT前18:00着(解散)

【雨天の場合】 雨天実行 野党の森、近くの安房特別支援校の体育館を借りる予定。(弁当 レクレイション)

ふれあいハイクは、千葉県連盟の伝統的なボランテァ行事です。 山の会としての、社会貢献として取り組んで来ました。15回目の 節目として、千葉県連盟より「100名」の参加をお願いします。 地元、館山野鳥の森で、楽しい交流に会を挙げて参加して下さい。

ゆう便り NO-5

№ 報告者 長池 康雄(ちば山の会)

NPO法人ちば労山ゆう」の正会員・賛助会員のみなさん強い低気圧が次々と来襲し後から停滞前線を引き連れてきたような梅雨が、今もじめじめと家の中に侵入してきます。昨日は北面から富士山に登り豪快な大滑降を楽しみました、と言いたいところでしたが雪は劣化してゴリゴリ状態、7時間もかけて山頂に立ったものの滑降は小砂利まみれの黒い雪との格闘でした。

春は、もう、とうに過ぎ去っていたのです。 さて、今回は、17名のご参加をいただきま した。"房総の花を牡鹿の郷に!"新しい試 みにも着手しました。

ご協力ありがとうございました。

では、早速・・・

- 1、日時 2014.6.14(土)~15(日)晴
- 2、参加 17 名
- 3、活動場所 石巻牡鹿半島谷川浜
- 4、宿泊場所 現地漁師さんの倉庫
- 5、活動内容 ホヤ養殖用牡蠣殻の吊紐通し 作業

しばらく姿を隠していた牡鹿半島の鹿たちが、朝まだき路傍にたくさん姿を現して我々の車を歓迎してくれました。

この半島を訪れはじめた頃は、路傍に立ち並んだ鹿たちの眼がじっとこちらの車を追う姿がとても印象的でしたが、いつの頃からかすっかり姿を隠してしまい寂しい想いに沈んでいたところでした。

何故なんでしょうか?

ここまでの間で鹿社会にも生活環境に大きな起伏があったのでしょう。

今回も牡蠣殻の吊紐通しの作業でした。 もうすっかり手慣れた作業になって、説明が なくてもどんどん作業は進んでいきました。 穿孔の作業や貝の選別作業が間に合わない ほどです。



かき殻に穴をあけ、紐をとおす作業 腕前は、すでにベテランの境地

前回、お話しました花などを植える活動ですが、鹿の食害が心配される。さいわい房総半島鋸南町は「をくずれ水仙郷」「江月水仙口ード」など牡鹿半島には、その心配のない水仙が良いのではないかと考えました。

全国的にも水仙栽培で著名なところです。 今回、理事長が鋸南町を訪れ試験栽培用の球 根を入手しましたので、これを谷川浜に植え て定着するかどうかを試みてみることにし

房総半島と牡鹿半島を結び付けるご縁になるかもしれません。

ました。

試験栽培の場所は地元の了解のもと、高台移転計画道路の入口にあたる洞福寺境内と谷川漁港を見下ろす高見に位置する二渡神社境内の法面を選び、植付けの環境を変えつつかなりの量の球根を埋め込みました。

この球根が芽吹き無事に花を付けるように 成長するかどうか、おおいに期待してやみま せん。

また、石巻市内の日和山の下にあった門脇 小学校(震災で火災を起こしましたが生徒は 日和山に避難し無事でした)の校庭前に石巻 労山の努力で花壇が設えています。



門脇小学校前の花壇

牡鹿半島の背稜を走るコバルトラインがよ うやく全区間復旧しました。

走ってみると金華山をはじめ、牡鹿半島をめ ぐる海の景観がすばらしいです。

機会をみて訪れてみてはいかがでしょう。



コバルトライン全区間開通 御番所苑地から望む、金華山



洞福寺の法面への、水仙の試植作業

次回は、7月12日(土)~13日(日)谷 川浜を予定しています。

暑さが増してきますが引続きご協力のほど よろしくお願いします。

お礼の連絡がありました。

6月14・15日の支援活動で、「ホヤ」の斡旋がありました。震災後の谷川浜からの贈り物です。この贈り物を楽しみにしていた、岩手県出身の支援者から、感想がとどきました。

「ゆう」の皆さんが、植え付け準備から収穫までの作業を思いながらいただきました。」 震災前は、ふるさと岩手から毎年送って来ました。震災後3年経って、三陸のほやが食べられる事、皆さんの支援活動に感謝します。

この方は、所属団体で支援物資の販売に 取り組んでいます。

私もいただきました。

ちょっと小振りですが、身が厚くオレンジ色がとてもきれいでした。勿論美味しかったです。

—— 編集者 —-

「ちば労山ゆう」の活動は、皆様の支援によって支えられています。

特に、支援活動への参加費用の補助は大きな援助となっています。高速道路補助金が無くなり、ガソリン代の値上がり等厳しい現状が続いています。

この厳しい現状を乗り切り、支援活動を継続して行くためには、皆さんのバックアップが大きな力です。

何よりの支援は、「ちば労山ゆう」の正会員・賛助会員として入会していただく事です。 「千葉労山」の中で、大震災を風化させないために「ちば労山ゆう」の活動を各会・クラブ で紹介していただき、会員・賛助会員を拡大して下さい。

—— 編集者 ——

二百名山 鳥甲山(テント教室)

松戸山の会 藤(記)

日程:6月21日(土)~22日(日)

メンバー: CL 大越 直樹 SL 甲田 栄作

渡辺 敦子、上田 一敏、渡辺 正二、丸山 宏、吉田 年江、千葉 青史 菊地 文子、広谷 明子、山田 明子、堀井 美和、藤

コースタイム: 21 日 屋敷登山口 6:45-7:45/7:55-1430m稜線 8:55-1600m9:30-1750m10:10-鳥甲山 11:35/11:55-1750m13:00-1600m13:20-1430m稜線下り 13:55-屋敷下山口 15:40

費用:高速代 1,927 円 車使用代 5,913 円 食費 500 円 テント使用代 300 円 ガス代 167 円 通信費 23 円

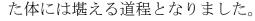
天候:曇り後雨

北信濃、秋山郷から登る秘境、鳥甲山に行って来ました。荒々しい山容と急登の連続、長い道程との前振りもあったせいか、やや緊張ぎみに 20 日夜に松戸出発、途中、道の駅仮眠予定を変更して、幕営予定地の秋山郷のキャンプ場へ。いくつかの手違いもあって、幕営後、仮眠出来たのは 1 時 50 分。そして、5 時起床。3 時間の仮眠ではちょっと眠い。梅雨模様とは言え、天気はなんとか持ちそうです。

屋敷登山口を7時前に出発。稜線に向けての急登に気持ちも昂ります。

しばらくのアプローチから、ふと見ると登山道のがけに虎ロープがぶら下がってます。 あれえ〜何かなぁ?すると先頭を行く甲田さんが、その崖を登り始めたのです。突然の 藪漕ぎ状態の超急登にこれが鳥甲かぁと度肝を抜かれてしまいました。木の根っこと岩 に張り付き、藪を漕ぐこと約 20 分、なんとか登山道に復帰。このショートカットに一 気に汗をかいて眠気も吹っ飛んでしまいました。全員、甲田さんに気合いを入れて貰っ たぁ!

そして、そこから稜線に出るまでの急登を約2時間、登り続けて、やっとの思いでの出た稜線でしたが、本当は、ここからの尾根が長くアップダウンもあり、これまでに疲れ



途中で丸山さんが足を攣って下山、また女性陣の中には弱音を吐く場面もありましたが、風にない稜線での暑さ、湿度、まとわりつくアブや蚋と戦いながら、約2時間半かけて登り詰め、鳥甲山頂上に立つことができました。頂上は稜線から少し奥まったところにあり、眺望もなく、また何の変哲もない頂上ですが、厳しい山だけに登り切った感は格別です。

頂上にいること 15分、下山開始です。とにかく下り

に下って行きますが、いつまでたってもまだ下り。やっぱり必死に登って来た分、遠いなぁ。さらには急登の下りで危険な個所も多く、慎重に下って行きます。よくこんなとこ登って来たなぁって思うくらいの斜度に思わず感心です。

なんとか持っていた天気もラスト30分でとうとう雨、暑い中レインウェアを着込んで、 やっと登山口に到着しました。なんと長い道程だったでしょうか。



厳しい山でしたが、沢山のお花と仲間のおかげで、なんとか頑張れました。皆さんありがとうございました。下山後の温泉は本当に気持ち良く、生き返りましたね。 翌日は苗場山に行く予定でしたが、荒天のため、塩沢石打の道の駅にてテントを張り、翌日の様子見としましたが、荒天が続いたため中止となりました。

最後に私事ですが、今回の山行は松戸山の会に入会して丁度1年を迎える、正に節目となる山行となりました。1年前、ほぼ初心者の私を最初に連れて行っていただいたのが、今回の山行リーダーでもある大越さんでした。その時のことでは、足が攣ったり、時間がかかったりで大変ご迷惑をおかけしたことを思い出します。

私にとって記念すべき、今回の山行は1年の締めくくりとして、自分のポテンシャルを 確認する良い機会となりました。鳥甲山をコースタイム内で登頂出来たことは大きな自 信です。

1年間、大越さん、そして皆様に鍛えていただきました。ありがとうございます。 そして、これからもどうぞよろしくお願い致します。

以上

組織委員会からのお願い

組織委員会は、拡大部会として個人会員制度の検討・実施にむけた活動を実施して来ました。全国連盟が個人会員制度の導入について提案する前から、千葉県連における個人会員受け入れの検討を行ってきました。全国連盟の制度との整合性を重視して全国連盟の個人会員制度の進捗に合わせて、実証区としての協力を決定しました。

しかし、全国連盟の個人会員制度は当初の思惑通りには行かず、入会者も想像を超えた少なさで維持している。全国連盟総会が終わり、年度が変わって新体制で再出発した。しかし、現状は全く進展していないと言っても過言ではない。

個人会員制度の導入は、会員拡大・組織強化など労山の組織活動が十分な成果が上がらず、全国的に会員数の減少が続いている事の打開策でもあった。(はずである)

この様な全国的な傾向を、千葉県連盟としてどう受け止めるのか?千葉県連盟の会・クラブの現状はどうなのか?について調査するためのアンケートをお願いしました。組織委員会として、現状分析を時間をかけて実施したいと思います。

各会・クラブの皆さんには、参加・協力をお願いします。

山行報告「庚申山」

報告者 寺崎 眞理 (ちば山の会)

・山 名 足尾山塊 庚申山・皇海山

・メンバー 広木(国)・菅井・寺崎

・山行日 2014年6月23日(土)・24日(日)

・6月21日(土) 3時30分、千葉出発。 東北自動車道から、日光、銀山平に入る。国民宿舎「かじか荘」先の駐車場にはすで にかなりの先客。

ここで山荘の管理をボランティアで実施している、栃木労山・森さんと合流する。 はじめのうちはごく普通の林道だったが、すぐに、崩れ落ちてきた岩が砕け散乱した 林道に変わった。左は溪谷、右は緑の斜面、何時間か前に千葉にいたのが嘘のようだ。 途中には「天狗の投石」と書かれた、そこだけがたくさんの大きな石が積まれた不思 議な斜面があり、霊山の趣がもう始まっている。

「一の鳥居」を過ぎ、庚申七滝を眺めながら「庚申山荘」を目指す。苔生した大きな岩がごろごろしていてその上にしっかり根を下ろした木々の存在感。鏡岩とか夫婦蛙岩などと命名された大きな奇岩もあった。

9:00「庚申山荘」着、山荘周辺の散策。クリンソウの赤紫が鮮やか。1 時間後、 庚申草を見に庚申山目指して出発。山荘で一緒になったお母さんの3人組と菅井さん、 寺崎5人で登り始める。広木さんは山荘の管理人森さんと山荘とトイレの清掃。山荘のトイレはエンジン発電を利用したバイオトイレであった。かなり大きな山荘なので、 清掃助っ人は森さんにとっても心強いだろう。

さすに古火山らしく此処彼処に奇岩が多い。何度も庚申草を見に来ている菅井さんの案内で、水が滴る大きな岩にひっそり身を寄せている庚申草に御目文字した。岩に付いている白い苔に隠れ、言われて初めてこれが庚申草だと認識した。山荘の大きく引き伸ばされた写真と違い、あまりの可憐さにこれが食虫植物?皆さんが夢中になるはずだ。一緒に咲いているサクラソウに引けをとらなかった。山行者のほとんどが庚申草目当てとか。足場が悪く、写真は接写が難しくうまく撮れなかった。

天候があまりよくなかったので、山頂からの眺めは今一で、次の日登るはずの皇海山頂はとうとう姿を見せずじまい。帰りは「お山巡り」で下山。結構しんどいルートとか。岩の迫り出した大きな岩陰にやはり庚申草、サクラソウが密やかに咲いていた。大胎内、鬼の耳すり、馬の背とか、眼鏡岩…、奇岩の宝庫。梯子、鎖場、崩れ落ちそうなトラバースコースで、スリリングなおもしろい下山だった。とは言え、トラバース途中、ずり落ちた男性、山頂付近で大きな岩が落ち辛うじて梯子で止まっていたと情報も入った…、油断大敵である。奇岩の上に根付く樹木、雪の重みで同方向に枝垂れている樹木。自然の厳しさを垣間見た。

2 日目(22 日)…昨日の下山最後の行程で降り出した雨がずっと続いていたので、皇 海山登山は断念。出発予定の3時頃まで山荘でのんびり過ごす。 昨日姿を見せた、森さんが取り上げた鹿のハナちゃんは姿を見せず、他の鹿が時々姿を現した。木々の間から見えるその姿を白い馬に置き換えるとまるで東山魁夷の世界だ。きな臭い世間をしばし忘れさせる静謐、命が洗われる思い。

しかし、森さんの話を伺ってショックだった。

猿田彦神社が壊れてしまったので、庚申山荘内に御神体(銅鏡)が祀ってあったが、 それが盗難に遭ったという。山荘内の賽銭、山荘利用料金(普段は無人のため、入れ る箱が置いてあった)、飾ってあった庚申草の写真、時計、方向や山の位置を示す大 きくて重たい銅版(ステンレスの台に止めてあった)等々、呆れるばかりである。

話を伺って許せないと思ったのは、登山客に対してもあった。木製のテーブルには丸く焦跡がいくつもあった。そればかりか、カーペット等にも、である。寝る場所の至る所にロウソクの蝋が垂れた跡があり、直接ロウソクを立てた形跡もあった。

だいたい、ロウソクなど、どうして必要なのか? みんなヘッドライトは持っている だろうし、LED のカンテラだってあるだろう。明かりには困らないはずだ。自宅のテーブルや畳、カーペットに直接ロウソクを立てる人間が何人いる?

私は山に登り始めて間もないが、山が好きな人はみんな善人だと思い込んでいた。 認識を変えざるを得ないと思ったが、それでも森さんは手弁当で山荘の管理を続け、 登山者に気を配り、登山道を直している。そして、助っ人をしている広木さん、樹木 や草花について愛おしそうに話される菅井さん。

一味違う山行経験だった。



庚申山荘 ログハウスです



庚申沢 水量もあり、岩魚もチラホラ





庚申草 虫取りすみれの変種かな



途中のベンチで一服

山を求める心

一白馬岳兄弟登山の思い出一

一昨年猿倉から鑓温泉を経て白馬鑓、白馬岳、朝日岳と廻り蓮華温泉に下った。昨年は白馬岳から祖母谷温泉を訪ねた、

オリンピックジャンプ台のある白馬村から猿倉へ行く途中に小目向の湯がある。ここは不帰嶮、唐松岳から来る南股と白馬大雪渓から来る北股の合流する地点で二股と呼ばれる。ここに中電二股発電所が有る。ここで中学一年の夏休みを過ごした。上の姉豊子がここに勤める男に嫁いだばかりだった。当時蝶の採集に夢中だった私にとって又とない機会で毎日蝶を追いかけていた。他にすることと言えば社宅の横を猿倉方面に行き来する人達を眺めることだ。大きな荷物を担いだ強力も多かった。彼らは太い棒を杖として使い、休む時はその棒を背負子の下端に当てて立ったまま休む。私は山で立休みする際はこれを見習いザックをストックに預けて休む。母から米と味噌を持たされて居候に行ったのだったが山深い所なので魚、肉などは乏しい。しかし岩魚は良く食べた。義兄は仕事から帰るといつも北俣を岩魚を釣りながら遡行し又釣りながら下ってくるのだった。用心深い魚だという。肉の思い出もある。下の細野部落(現在の白馬村)で豚を屠ったから分けて貰ったと豚肉を持ち帰ったこともあった。

小日向の湯の前に南股に架かる橋があるがここからは不帰嶮が見える。カエラズ。何とロマンと恐怖をもつ響きだ。大人たちの話に耳を傾けながら人の行く所では無いなと決めていた。白馬は北股の上方に僅かに見える。

夏休みの終わりに義兄が白馬へ連れて行ってくれるという。長野から兄重之と下の姉愛子が来て五名で登山することになった。猿倉辺りまでは蝶を追って行ったことはある。白馬尻で初めて貸アイゼンを付けた。捕虫網と蝶を収める三角缶は必携品だ。初めての雪渓歩き。危険個所には赤い布を付けた棒が差してある。雪渓の下に落ち込んでしまったらと思うと恐ろしさは十分に判った。お花畑辺りで珍しい蝶を見つけて岩の上を飛び回り大人達から何度も叱声が飛んできた。強力達が雪渓を見事なグリセードで下るのを見て感心して眺めた。

夕刻村営小屋に着く。夕日で陰陽がくっきりとした杓子岳の迫力に息をのむ。「これこそ本当の山だ」。この時の眺めはその後もずっと忘れない。今も「山の姿」に憧れて山歩きをしているが、私の「山を求める心」の原点はここにあると思われる。汁ばかりのライスカレーと誰かの足が顔の前に来るように互い違いに寝させられた村営白馬山荘の印象は強かった。

今は五人のうち義兄幸雄と兄重之は他界し二人の姉と私だけが残る。あの時からもう **63** 年になる。山の楽しみを教えて呉れた兄たちに感謝する。



(1951年夏 白馬尻付近)



(村営白馬山荘)



(杓子岳 白馬鑓を眺める)

(貴重な思い出の写真、有難うございます。)

県連たより

県連盟連絡先

○ 千葉県勤労者山岳連盟事務所 〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101 号室

TEL·FAX: 043-306-1190

Eメール: <u>rousanchiba@grape.plala.or.jp</u> JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分 (県連事務所に常駐者はいません)

○ 千葉県連ホームページ

http://www.cwaf.jp

県連盟への問い合わせは、上記ホームページ 事務局への問い合わせまで

◎ 事故一報送付先

教遭委員長・岡田 賢一

ken-ichi@f4.dion.ne.jp

Fax:043-271-4704 事故一報は、全国連盟事務局にも必ず 送付の事。

- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先機関紙委員会・広木 国昭danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座 00160-3-481509 千葉県勤労者山岳連盟

◎ 東日本大震災・支援金振込み先

口座番号:ゆうちょ銀行

 $0\ 0\ 2\ 4\ 0 - 8 - 9\ 8\ 4\ 1\ 9$

加入者名:NPO法人 ちば労山ゆう

代表者 吉田 哲治

○ その他、県連盟、全国連盟への、ご意見 問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労ゆう」への入会は 千葉県連盟ホームページから 入会出来ます。
- ・入会申し込みは

http://www.cwaf.jp/contact/10-2/

- ・「ちば労山ゆう」への問合せは http://www.cwaf.jp/contact/09-3/
- ・入会情報(6月末)

正会員数 94名

賛助会員数 109名

合計 203名

常時、会員を募集しています。

入会連絡は、上記アドレスまで! 新年度のNPO「ゆう」支援活動の お知らせ

- ・7月12日(土)・13日(日)
- ・8月23日(土)・24日(日)

支援物資は常時販売中です。

下記アドレスに連絡を!

三陸・気仙沼直送の支援物資は 支援物資担当・広木までどうぞ

「おさしみわかめ」

「さしみこんぶ」

「くきわかめ」

「すき昆布」

「とろろこんぶ」

常時在庫あり、宅配相談下さい

danphiro@zpost.plala.or.jp 090-8346-2020

県 連 活 動 予 定 表

7	月	行事予定	8 .	月	行事予定
1	火	役員会	1	金	
2	水		2	±	
3	木		3	日	
4	金		4	月	女性委員会17時幕張本郷公民館
5	土		5	火	県連役員会はお休みします
6	日		6	水	
7	月		7	木	
8	火		8	金	
9	水		9	±	
10	木		10	日	
11	金		11	月	
12	土	NPO支援活動	12	火	
13	日	<i>II</i>	13	水	
14	月		14	木	
15	火		15	金	
16	水		16	±	
17	木	理事会	17	日	
18	金		18	月	
19	土		19	火	
20	日		20	水	
21	月		21	木	県連理事会はお休みします
22	火		22	金	
23	水		23	±	NPO支援活動
24			24	日	II .
25			25		
26	±			火	
27			27		
		遭難対策委員会		木	
-	火			金	
	水			±	
31	木		31	日	

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL·FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者 : 吉田 哲治 編集責任者 : 広木 国昭

問い合わせ先 : 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ